

鉄道施設見学会を開催しました

北信越マイレール事業実行委員会（事務局：県上越地域振興局企画振興部）では、「北信越スタンプラリー 2013」事業の新たな取組みとして、鉄道施設見学会を開催しました。

このイベントの主な目的は、鉄道施設の見学を通じて、鉄道の魅力、公共性及び安全に対する取組について理解を深めていただくとともに、在来線の利用促進を図ることです。

見学会の参加者は、北信越スタンプラリー応募者の中から、ご希望のあった小中学生とその保護者で、石川県や長野県からの参加もありました。

見学会は、JR東日本直江津駅と北越急行株式会社から全面的な協力をいただきながら、8月24日（土）、25日（日）の2日間に渡り開催しました。

初日は、JR直江津駅で開催し、9組 21名の親子が参加されました。当日は、駅のホームで特急はくたかの乗務員の交代を見学した後、駅長室で記念撮影をしたり、駅事務室や券売機の裏側を見せていただいたり、駅運転室で運行状況などのご説明をいただきました。

駅長席で、駅長の制帽をかぶっての記念写真では、緊張しながらも少し誇らしげにポーズをとる子供達が印象的でした。

2日目は、北越急行まつだい駅近くのまつだい工務区で開催し、4組7名の親子が参加されました。当日は、在来線では国内最速を誇る特急はくたかの高速運行を影ながら支えている、レールなどの保守点検の仕事をご説明いただいた後、実際に鉄道保守点検用「アルミカート」に試乗させていただき、参加した親子ともに初めての体験となり、アルミカートが動き出すと、歓声が上がっていました。

今回の鉄道施設見学会は、親子で鉄道をより深く知ることです。ますます鉄道を大切に考えていただく良い機会となりました。



▲直江津駅ではくたか乗務員の交代を見学

▲まつだい工務区でアルミカートに試乗

4月27日（土）から8月31日（土）まで開催した北信越スタンプラリー2013には、多数の皆様からご応募いただき、ありがとうございました。

鉄道と共生するまちづくり活動モデル事業

「電車に乗って電車を考える女性会議」の参加者を募集

●日 時 平成 25 年 11 月 9 日（土） 9 時～ 17 時

●内容・会場

□電車の乗り方講座（会場：上越市直江津学びの交流館）

日頃電車を利用しない人に、電車の乗り方等に対する不安を解消し、鉄道を身近に感じてもらう講演を行います。

□電車に乗って電車を考える女性会議（会場：妙高市妙高高原メッセ）

参加者が電車に乗り、乗降客の目線で電車や駅舎、ホーム、沿線について考えるとともに、女性の視点で快適性や安全性、利便性などを考えます。会議では、数グループに分かれ、参加者が意見を出し合い、自分達でできること、えちごトキめき鉄道(株)に依頼することなどに整理して発表し、全体としてまとめます。

●行程

- ・ 9:00 ～ 9:10 参加者受付（直江津学びの交流館）
- ・ 9:15 ～ 9:45 電車の乗り方講座（直江津学びの交流館）
- ・ 10:13 ～ 11:01 直江津駅出発 ～ 妙高高原駅到着
- ・ 13:00 ～ 15:00 電車に乗って電車を考える女性会議（妙高高原メッセ）
- ・ 16:02 ～ 16:55 妙高高原駅出発 ～ 直江津駅到着

●定員 30名（女性のみ）（申込み多数の場合、抽選）

●参加費 一人 1,500円（昼食代ほか）

●お申し込み期間 平成 25 年 10 月 25 日（金）まで

●お申し込み・お問い合わせ先

- ・新潟県交通政策課（TEL025-280-5974（直通））
- ・上越市新幹線・交通政策課（TEL025-526-5111（代表））
- ・糸魚川都市整備課（TEL025-552-1511（代表））
- ・妙高市企画政策課（TEL0255-74-0005（直通））

●その他 平成 26 年 1 月下旬にも、直江津駅～糸魚川駅間で同様の会議を開催する予定です。

並行在来線 沿線を巡る

関山駅の紹介

関山駅は 1886 年（明治 19 年）に信越本線が直江津駅から関山駅まで開通した際、全国で初めてのスイッチバック駅として開業しました。その後、1985 年（昭和 60 年）10 月 28 日に 450m 南側に移転し、現在の関山駅の姿となっています。

駅舎は観光地である妙高の景観に合わせ、ヨーロッパ風の建物をイメージしており、観光拠点としての一翼を担っています。駅を降りると、妙高市のシンボルである妙高山を仰ぎ見ることができます。

平成 24 年度の 1 日平均の乗車人員は 174 人（出典：JR 東日本ホームページ）で、夏季は豊かな緑に囲まれ、冬季はスキー・スノーボード等のウインタースポーツの玄関口となります。

□駅前広場の「鐘」は何？

駅前広場の鐘は、妙高村政 50 周年の記念モニュメントとして設置されたものです。

2004 年（平成 16 年）10 月 29 日、妙高村（当時の姉妹都市、オーストリアのシュルンス・チャグンス村）で製作された青銅製の鐘が取り付けられました。

この鐘には関山・原通・大鹿・豊葦の村内 4 地区の名前がローマ字で彫られており、村の足跡を偲ぶ場所になるように、との願いが込められています。

周辺の紹介

■ 関温泉

1728 年（享保 13 年）の開湯以来、加水・加温はせずに、11 件の宿全てが源泉かけ流しです。鉄分が含まれたお湯は赤く、「湯冷めしない」と昔から評判が高い温泉です。

●交通 関山駅からバスで 15 分

■ 関山神社

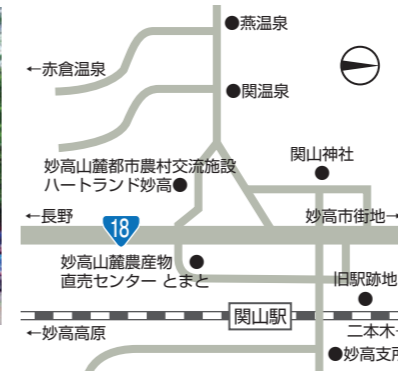
関山神社は、古く奈良時代より妙高山を霊山と仰ぐ修験道の道場として繁栄してきました。境内には国の重要文化財である銅造菩薩立像などがあります。

毎年 7 月第 3 土曜日・日曜日には山岳信仰の伝統を受け継いだ「火祭り」が催され、参拝客でにぎわいます。地元の若者たちによる仮山伏の演武や、奉納相撲などが行われ、活気に溢れます。

●交通 関山駅からバスで 3 分、または徒歩約 40 分



▲仮山伏の勇壮な演武（関山神社火祭り）



今回は、妙高山の素晴らしい紅葉を楽しめる関山駅とその周辺を紹介します。



▲関山駅外観

▲駅舎サロン

また、駅待合室の奥に休憩所と喫茶機能を持つ駅舎サロンが開設されており、地元の方々や駅を訪れた観光客が集い、交流する場となっています。2階部分は絵画、写真などを展示する画廊となっており、愛好家が描いた絵画、地元の小学生が撮った写真などが人気を集めています。

この駅舎サロンと画廊は、「駅舎サロン&画廊愛好会」のボランティアスタッフによって運営されており、コーヒー、紅茶やクッキーなどが提供されています。



▲駅前広場の鐘

■ 燕温泉

妙高山腹を掘り、溪谷に引湯し、1895 年（明治 28 年）に完成しました。季節ごとの美しい景色を見ながら乳白色のお湯を楽しむことができます。

●交通 関山駅からバスで 25 分

■ 妙高山麓農産物直売センター とまと

農家が熱意を込めて栽培した「安全、安心」そして新鮮な朝どり野菜、花や米、加工品や民芸品などを販売しています。併設の「お食事処妙高」では郷土料理の山もちや笹寿司、十割そばなどが食べられます。

●営業時間 9 時～ 18 時（10 月～ 3 月：9 時～ 17 時）

●交通 関山駅からバスで 10 分



▲とまと 収穫祭

▲ハートランド妙高外観

■ 妙高山麓都市農村交流施設 ハートランド妙高

「大自然とのふれあい、農家の方々と交流を通じて、食や農山村の文化と助け合いの心を学び、伝えてゆく」をテーマとした交流施設です。

米粉ジザや郷土料理笹寿司づくり、野菜の収穫など、様々な「妙高暮らし」が体験できます。

●利用時間 9 時～ 17 時

●交通 関山駅から車で 15 分（施設利用者に限り無料送迎バス利用可）